

第1回雲出川行政会議 議事要旨

日 時：平成20年5月28日（水）10:00～11:15
場 所：三重河川国道事務所 2階会議室

1. 開会

2. 議長挨拶（中部地方整備局 三重河川国道事務所 所長）

3. 構成員紹介

4. 議事

（1）雲出川行政会議の設立・運営について

雲出川行政会議の設立・運営について、内容の確認を行い、承諾されたことにより、第1回雲出川行政会議より規約を施行することになりました。

（2）雲出川水系河川整備計画策定への取り組みについて

雲出川水系河川整備計画策定への取り組みについて、主に次のような意見をいただき、内容を確認しました。また、次回は第2回三重河川流域委員会の開催前に実施することが確認されました。

第1回三重河川流域委員会の開催報告に対する意見

- ・「小戸木の開口部は早く解決することが必要」や「開口部による遊水機能のバランスがポイントとなる」の意見についてどのように捉えているのか。
開口部に対する整備の方向性を決め、流域全体の調整の中で安全度をあげていくことが必要（事務局）。
- ・開口部は、遊水部の土地所有者にとって問題であるが、上流から下流まで固めるだけが治水ではないと考えており、様々な機能をもった雲出川であることを踏まえ、今後の整備をお願いしたい。

雲出川ふれあい懇談会の開催報告に対する意見

- ・「洪水時に逆流する赤川や農地が浸水するなどについて、対策を考えていただき、早期解決してほしい」の意見について、ポンプの設置等の具体的な意見が出されたか。
ポンプや樋門設置という具体の議論ではなく、浸かるから締切ってほしい、という主旨であった（事務局）。

今後の予定に対する意見

- ・準備会の時は、関係部局との情報交換を行う場として行政会議の下部組織である部会設置の案があったが、進め方の考え方を示してほしい。
部会は規約第4条の5に記載しているが、部会設置を前提に会議を進めるのではなく、必要に応じて実務担当者による部会を設ける、という整理で

- 考えている（事務局）。
- ・数回の行政会議では現実的に結論は出せないなので、部会を随時開催するなどの方法で進めてほしい。
 - ・平成 20 年度に河川整備計画を作ると聞いているが、櫛田川を除く 3 河川の計画策定のスケジュールは雲出川と同じなのか。
雲出川は平成 20 年度を目標とし、他の 2 河川についても早い計画策定を目指しているが、平成 20 年度以降と考えている。（事務局）
 - ・河川整備計画対象期間（30 年）における事業の進め方について、10 年、20 年、30 年 という時間的な区切りと事業を実施する区間との関係は、どのように考えるのか。
30 年後の目標達成に向けて、現状での予算を基本に段階的に、かつ優先順位をつけながら事業を進めていくことになる（事務局）。

5 . 閉会